

排水処理用高性能ろ床「リングレース」

リングレースとは

繊細で強靱な放射状の輪状体を多数有するひも状接触材をエレメントとするろ床の総称（RingLace）であり、ろ床形状により各種の型式があります。リングレース接触材は下記のような物性で、物理的・化学的に高度の安定性を有し、接触材として半永久的に御使用になれます。



側面



断面

リングレースの特徴

汚泥の捕捉能力と定着性が抜群です。

汚泥やSSの捕捉能力が強いため稼働時の処理性能の立上りが早く、水質の安定と持続性に優れています。

水流の抵抗が小さく流れがスムーズです。

通常のろ床より空隙率が高く槽内流速が速くとれるので接触効果がきわめて良好です。

ろ床閉塞は生じません。

リングレース接触材の適正な配置により閉塞することはありません。

余剰汚泥が少ない。

汚泥の自己消化が効率よく行われるので余剰汚泥はいちじるしく減少します。
また低負荷運転を行えば、余剰汚泥の発生を全くなくすることも可能です。

負荷変動及び温度変化に強い。

リングレース接触材の保持汚泥量が多く生物相が多様なので水量、水質、水温等に対する抵抗力が大きくなります。

除去率が高い。

従来、分解困難であった難分解性有機物を低濃度まで酸化分解することができます。

容積負荷が大きい。

保持汚泥量が多く、水との接触効果も高いので容積負荷を大きくとることができます。

既設槽の改良に好都合である。

槽の形状、寸法に合わせて、R L 接触材の間隔や投入量を調節することができ、目的に合わせた設計が可能です。

維持管理が容易になりました。

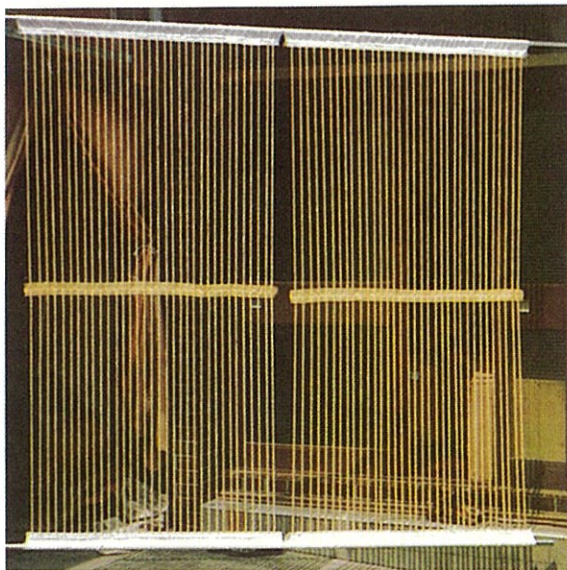
汚泥返送の必要がなく、汚泥の発生量が減少し維持管理の省力化が可能になりました。

排水処理用高性能ろ床「リングレース」

リングレースろ床

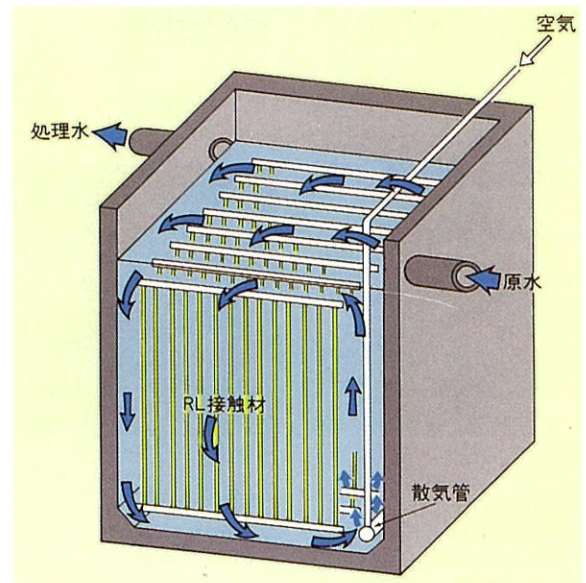
リングレース型は処理性能、コスト、構造等あらゆる面で検討を重ね製品化した画期的ろ床です。接触ばっ気槽の展張深さに合わせ一定間隔に保たれたのれん状のものを上下に綴じ合せて単体に致しました。のれんの上下は軽量展張棹で保持され接触槽に簡単に取り付けられるよう工夫されています。

- 取付位置の移動が簡単なので、投入量の加減が任意にできます。
- 設置作業は吊り下げ方式なので、水張りのままでも設置することが可能です。
- 製品は折りたたんで出荷いたしますので、大幅に輸送費が削減できます。



リングレース接触材組立図

リングレース接触ばっ気の構造



仕様

材質	塩化ビニリデン
比重	1.7
引張強度	10kg/RLエレメント
単位重力	10g/m
モール状外径	約 25 φ
吸水性	0
伸長弾性	優
摩擦強度	強
空中軟化点溶融点	140~160℃
耐酸性	強
耐アルカリ	強
耐腐蝕性	腐らない



リングレース接触材の汚泥付着状況